

日本学術会議の独立性を侵害する内閣府「日本学術会議の在り方についての方針」の撤回を求めます

新薬学者集団代表 藤竿伊知郎
〒555-0024 大阪市西淀川区野里3丁目6-8
(一社)大阪ファルマプラン あおぞら薬局気付
<http://pha.jp/shin-yakugaku/>

内閣府は2022年12月6日、日本学術会議と意見交換を行うことなく、「日本学術会議の在り方についての方針」を公表しました。

それに対し、日本学術会議は、「内閣府『日本学術会議の在り方についての方針』（令和4年12月6日）について再考を求めます」の声明を2022年12月21日に発表しました。

声明は、6点にわたる懸念事項を指摘し、ナショナル・アカデミーの5要件が崩され、日本学術会議が政府の御用機関に変容されていくことを危惧しています。

日本学術会議は、先の戦争で科学者が軍部に協力させられたことの反省に立ち、「科学者の総意の下にわが国の平和的復興、人類社会の福祉に貢献すること」を願って1949年に設立されました。戦争への非協力、「学問の自由」と「学術会議の独立性」の保障がその根幹にあります。内閣府の方針は、これらをかかげる日本学術会議を潰そうとするものです。

私たち「新薬学者集団」は日本学術会議の声明を支持し、日本学術会議に対する内閣府方針の撤回を求めます。